

令和5年度 第4回大阪府河川整備審議会 議事要旨

日 時 : 令和5年12月20日(水曜日) 17:00~18:35

場 所 : 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター) 大会議室2

出席者 : (委員) 里深会長、荒木委員、大久保委員、岡井委員、小林委員、菅委員、中桐委員、中村委員、平松委員 計9名

内 容

- (1) 佐野川水系の河川整備の事業評価について
 - (2) 大津川水系牛滝川の河川整備の事業評価について
 - (3) 大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価について
 - (4) 石津川水系石津川の河川整備の事業評価について
 - (5) 大和川水系石川ブロック飛鳥川、梅川、天見川の河川整備の事業評価について
- 以上の5件について、本日までの審議をもって「府の対応方針(案)は適切」と答申する。

概 要 : [以下、○委員 ●事務局]

(1) 佐野川水系の河川整備の事業評価について

○現在の整備についての記載の後に、計画を超過する降雨についての検討状況、避難に関する情報提供という順番に整理すべき。

(2) 大津川水系牛滝川の河川整備の事業評価について

○河川整備が完了しても浸水リスクは完全には解消されないことについて記載すべき。
○流域治水を実施する主体に流域内の住民も含まれているということが伝わる内容にすべき。

(3) 大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価について

○コスト縮減について、費用が事業全体でどの程度削減されるのか理解できるようにすべき。
○物価の上昇など、必然的に発生するコスト上昇は避けることができないため、理解できるような文言とすべき。

○避難に関する情報について、計画を超過する降雨のみならず、工事期間中の現在でも活用できる情報であることが理解できるようにすべき。

(4) 石津川水系石津川の河川整備の事業評価について

○意見の数が他の河川に比べて多く集まった理由は、
●氾濫危険水位に達する回数が比較的多く、地域住民の治水への関心が高いことが考えられる。
また、河川愛護に関する市民活動が盛んなこともあり、意見が多く集まったと考えられる。
○流域治水においては、流域内の住民の意見を汲み上げることが必要になる。今回のような意見募集も貴重な機会である。
○流域の具体的な意見が集まっているため、流域市の独自の防災に関する取組があれば追記してはどうか。
●堺市では「防災マップ」を市民の方々と作成するという取り組みを行っている。追記について検討する。

(5) 大和川水系石川ブロック飛鳥川、梅川、天見川の河川整備の事業評価について

○水辺空間の保全について、具体的な取り組みを追記すべき。
○流域治水に関して、府民の方々が様々な情報を踏まえ避難行動をとる必要がある。その上で、河川整備で対応できる洪水にも限界があることを示してはどうか。
○河川整備計画対象河川において、河川整備は計画期間内に完了するのか。
●河川整備計画では20年から30年の期間での整備完了を目標としており、大阪府都市整備中期計画にて今後10年の予算の見込みを踏まえ事業を進めているものをご理解いただきたい。
○流域治水の取り組みについて、住民の方々が実践できる取組事例や利点を説明することで、より多くの方々に理解できるようにすべき。